

かいこう
調査観測兼清掃船『海煌』の緊急出動について
(鹿児島湾内を漂流する大量の流木の回収)

台風16号通過後の平成28年9月21日、鹿児島湾内で大量の流木の漂流が第十管区海上保安本部により確認されました。この漂流している流木(長さ約2m～7m)により、付近を航行するジェットfoil等の船舶の安全性が損なわれる恐れがあります。(別紙参照)

これに伴う第十管区海上保安本部及び鹿児島県から九州地方整備局への流木回収協力要請に基づき、調査観測兼清掃船『海煌』(九州地方整備局所属)を本日午前5時15分に基地港の八代港から緊急出動させ、現場海域での回収作業を実施することになりましたのでお知らせします。



流木が漂流している海域



「海煌」の諸元
総トン数：195t 全長：35.0m 幅：11.0m

調査観測兼清掃船『海煌』

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部
港湾空港防災・危機管理課長 小手川 勇
海洋環境・技術課長 有江 浩一

代表：092-418-3340
直通：092-418-3375
直通：092-418-3380

● 漂流する流木の状況（9月21日海上保安庁撮影）《参考》 調査観測兼清掃船『海煌』の概要

- ◎ 通常時は、有明海・八代海等の漂流ごみの回収と環境調査に従事
- ◎ 災害時は、港湾の広域ネットワークを活用した被災地への支援を実施

【災害時における『海煌』の主な活動実績】



- ① 平成24年の九州北部豪雨後に、有明海等で漂流ごみの回収を実施

- ② 平成28年の熊本地震の直後に、熊本港において給水支援を実施

※17日間で延べ3,583人の市民に約11万リットルを供給

